

5 中川まちづくりプラン【ボランティア、町内会/自治会など地域活動の担い手を増やす】

<地域活動の担い手増加策>

平成 28 年 2 月 6 日（土）、地域と都市大学生が参加し、どうしたら地域活動の担い手を増やせるか検討した結果である。

今後、更に検討を進め、実行できる対策から導入していく。

1 学生/若者の参加を増やすアイデア

項目	アイデア	検討体制	実施状況
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・学内での引き継ぎ体制の確立 ・ボランティアの存在を SNS 等で告知する。 ・地域住民から学生への情報提供 ・誰が主体になっているかの広報をする。 	検討委員会（都筑区、東京都市大学、ぐるっと緑道）	(2016 年) ・早濶川・老馬谷バーデンプロジェクトに都市大都市緑化研究会・飯島研究室の学生が参加 ・都市大留学生カフェに留学生が参加 (2018 年) ・ふれあいフェスタ、駅前歩道橋階段絵の清掃に中川西中ボランティア部が参加。 ・早濶川・老馬谷バーデンプロジェクトに都市大都市緑化研究会・飯島研究室の学生が参加 ・都市大留学生カフェに留学生が参加
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・知り合いをつくる。 ・顔の見える関係をつくる。 ・若者や学生に対し受け入れやすい状況をつくる。 ・学生へのコミュニティの場の提供 ・第三の居場所をつくる。 ・何に対して関心があるのか分かる関係を築く。 		
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムに導入 ・学校で地域活動への参加を年 1 回強制する。 ・授業等で参加するきっかけをつくる。 ・授業の一環として地域と学生の繋がり場の提供をする。 		
企画	<ul style="list-style-type: none"> ・学生と地域住民が共同で行える行事の提案 ・参加者に役割を持たせるよう工夫する。 ・楽しんでもらえるような企画をし、次回以降の参加を促す。 		

対価	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバイト代の支給 ・弁当、飲み物、お菓子などの配布 ・地域活動の一員という意識を持たせるために腕章、バッジ等を授与する。 		
----	--	--	--

2 地域住民の参加を増やすアイデア

項目	アイデア	検討の方向	実施事項
活動PR	<ul style="list-style-type: none"> ・何をやっているのかをPRする。 ・参加のきっかけを広く呼びかける。 ・活動の具体的な内容と魅力の広報をする。 ・ボランティアをすとうれしい事があるのをPRする。 ・どんなボランティアがあるのか紹介する。 ・タウンニュースなどで取り上げてもらい一般人へ告知する。 ・地域活動の広報、報告、発表の共通の場を設ける。 ・活動情報をHPでアピールする。 ・まちづくりイベントのなかでブースを作り活動を紹介する。 ・駅舎内に活動掲示板をつくり情報発信（映像スクリーン） ・活動団体の紹介をする。 	協力して参加者を増やす方法を検討する。	<p>(2017年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぐるっと緑道は新たにHPを開設し。地域活動団体のHPを内部に設けた ・愛護会はHPなどで活動内容を公開した ・ぐるっと緑道は広報をカラー化して見られる広報化 <p>(2018年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中川西小、西中おやじの会の地域活動参加継続 ・中川西中ボランティア部の地域活動参加 ・NRPや中川駅前クリーン作戦への地域企業の参加 ・夏休みに「都筑区はあと de ボランティア」の小中高生が地域活動に参加 ・ぐるっと緑道/山崎公園愛護会で中川西中職場体験の生徒を受け入れた
企画（楽しい体験）	<ul style="list-style-type: none"> ・参加して楽しかったと思ってもらえるような企画 ・地域活動団体と一緒にイベントを実施 ・参加者、活動団体の交流の場を企画 ・気軽に参加できるように時間設定をしない。 ・定年を超えた男性でも入りやすい企画 		
登録制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア参加希望者の登録制度を実施 		
参加者への声かけ	<ul style="list-style-type: none"> ・体験教室やシェアハウスなどで声かけし、輪を広げる。 ・近所づきあいや自治会などで声かけ ・サークルにボランティアを義務づけて、入り口とする（餅つ 		

	<ul style="list-style-type: none"> き大会でのケアプラザ)。 ・強引にでも一回誘ってみる。 ・メール以外でもマメに呼びかけを行う。 ・若い人に積極的に参加の声をかける。 ・一人での参加に抵抗があるため知り合いに声かけ 		
子供・親	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校で地元の活動を紹介する。 ・地域の学校を通じて働きかける。 ・子供向けの企画で親も引き込む。 ・親子キャンプで防災訓練を実施する。 		
ボランティア 団体の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間を信頼して任せる度量が必要である。 ・顔が見えやすい運営 ・「褒めてくれる人」を活動に入れる。 ・イベント後の「打ち上げ」を毎回の楽しみにする。 ・参加してくれた方へ何らかの対価を考える。 		

<2年目の方針と活動結果>

- ・地域の様々な団体が連携協力し、情報を発信し、地域活動のすそ野を広げていく
 - ⇒中川西小、西中おやじの会の地域活動参加継続
 - ⇒早淵川・老馬谷ガーデンの都市大生参加の継続
 - ⇒中川西中ボランティア部の地域活動参加
 - ⇒NRP や中川駅前クリーン作戦への地域企業の参加
 - ⇒夏休みに「都筑区はあと de ボランティア」の小中高生が地域活動に参加
 - ⇒ぐるっと緑道/山崎公園愛護会で中川西中職場体験の生徒を受け入れた

<3年目の活動>

- ・地域の様々な団体が連携協力し、情報を発信し、地域活動のすそ野を広げていく